

阿部矢二教授略年譜

英文科へ入学。母の家を継ぎ阿部姓になる。

昭和二十七年九月十五日 東京市芝区柴井町十

一番地で出生。父有川矢九郎の第七男である。

同三十八年十一月 父の郷里鹿児島市山之口町

へ移る。

同四十一年 鹿児島県立第一中学へ入学。第

三学年頃から独歩・秋声・花袋・藤村等を読みは
じめる。現在にいたるまでの文芸愛好癖の発端で

ある。

大正二年三月 同中学卒業。

大正二年十二月 陸軍士官学校入学。

大正四年一月 同校より放校される。

同年九月 第七高等学校造士館一部甲類へ入学。

在学中牧水・哀果・啄木・茂吉・子規などの短歌

に親しみ、自らも作歌を試みる。

同七年 同高等学校を卒業・東京帝国大学文学部

同八年 同大学経済学部経済学科へ転科。河上肇

博士の「社会問題研究」を通じてはじめてマルク
スの名を知り、経済学修の方向をほぼさぐりあ
てる。

同十一年 同学部修了・経済学士。南海鉄道株式
会社に就職。

同十二年 結婚。昭和九年までに三男一女をあげ
た。

昭和二年 母死亡とともに会社勤めをやめる。

昭和三年 同志社高等商業学校教授、経済

原論、植民政策を担当。同二十一年より現在まで

立命館専門学校教授。現在、立命館大学教授、経

済原論、農業政策を担当。